

多言語対応を始めたハンズのサービス「Crayon」のトップ画面



## サイト作成 24カ国語対応に ハンズ、スマホのサービス拡張

ウェブサービスのハンズ(清水町)はこのほど、スマートフォンアプリで操作するウェブサイト作成サービス「Crayon(クレヨン)」の対応言語を24カ国に拡張し、各国のアプリストアへの配信を開始した。

これまでは日本語だけの対応だった。追加した言語は英語、フランス語、アラビア語、タイ語、インドネシア語など。サイト作成時の管理画面を各国語に翻訳した。長田敏彦社長は「特にパソコンよりもスマホの普及率が高い新興国のニーズを見据えた」と話す。現在の約4万ユーザーを3年後には30万ユーザーにする目標という。

同サービスは店舗や個人事業主などを対象に2014年9月から始めた。直感的な操作で簡単に写真や情報を更新できる。